

- 9. 強化三役、努力ヲ要スルニ至リ、
軍ハ首里市周辺ノ外廓陣地ヲ最後ノ抵抗線トシテ
兵力ヲ集結決戦ヲ行フ予定
- 10. 部隊ハ敵隊ニ次接近スルト共ニ連射砲機銃ヲ以テ
重機照準射撃ヲ實施シ第一線部隊ノ戦斗ニ協力シ
一方急速ニ陣地ヲ強化兵器彈藥ヲ集積整理糧秣確
保ニ努ム
- 11. 敵ハ五月二十四日頃一部陸戦隊ヲ以テ那霸市上陸市内
ニ侵入シ来リ東海岸ノ敵ハ與那原町ニ進入首里
ヲ包圍島尻方面ノ部隊ト遮断ヲ企図ス
- 12. 軍ハ第一案タル首里外廓陣地ニ於ケル決戦ヲ變更
シ島尻ニ転進後決戦スルニ決ス
- 13. 部隊ハ五月二十六日薄暮行動ヲ起シ島尻郡宜嘉次
方面ニ転進ヲ命ゼラルル
- 14. 部隊ハ集積セル糧秣彈藥ヲ極力宜嘉次附近ニ

搬送 スルト共ニ二十六日夜各隊毎ニ転進ヲ開始ス

15. 部隊ハ転進ニ當リハ迅速独機ノ配属ヲトカル

16. 肉迫攻東隊負ニハ本期間攻東要領ノ教育ヲ實施シ
三人組ニシテ逐次敵地ニ潜入セシメ津覇宜野ヲ前
田瀬道柵原附近ニ潜入シ遺棄セシメ多大ノ戦果ヲ擧

六 戦半経過ノ概要 自五月二十六日 要領其ノ六

1. 部隊ハ五月三十一日宜嘉次附近ヨリ神里ニ進出位置
ニ配備要領其ノ六ノ如シ

2. 神里附近ニ於テハ独機四十四旅団後退ニ伴フ陣
地ヲ交代シ待持ス

3. 本戦半ハ混成ニテ中隊ノ小隊數兵力ヲ以テ戦斗ヲ
繼續ス部隊唯一ノ兵兵器一内ハ敵戦車砲ニ依リ
破壊シ第ニ中隊長戦死

4. 本戦半間彼我ノ損害顯著ナルモノナシ

5 六月二日師団命令ニ依リ米須附近ニ転進ヲ命セ
 ラル薄暮部隊ヲ集結シ南進ス
 7 戦斗経過ノ概要 至六月五日 要図其ノ七
 六月三日一十日間米須東端ヲ自然壕ニ部隊本
 部ハ位置シ主トシテ米須海岸ヲ航行ス海
 陸ヲ警戒敵ノ上陸封鎖ニ備フ
 2 海岸部落附近ノ埋没戦車地雷及小型機雷ヲ
 第三四師団ヨリ申受ケ海岸附近ノ強化ス配
 備要図其ノ七ノ如シ
 3 六月十日師団命令ニ依リ小渡東端附近ニ陣地ヲ
 変更部隊本部要図其ノ七ニ位置ス
 4 米須沖ヲ航行スル敵艇ノ艦砲射撃及銃爆
 雷ハ識別ヲ極メ連日未完成陣地ノ構築作業ト
 部隊整備ヲ進メ
 5 入院中ノ吉林中尉退院部隊ニ復帰瑞慶貞

中隊長瑞慶貞中尉復帰ニ吉林中隊長瑞慶貞
 中尉ハ井上准尉副官代理ト交代副官ヲ命セラル
 6 飛行場設置隊附海老中佐賀谷部隊ニ配属セ
 ラル
 7 六月十五日師団命令ニ依リ独立混成第四旅團ニ
 配属ヲ命セラレ仲座附近ニ転進ス
 8 戦斗経過ノ概要 至六月十五日 要図其ノ八
 六月十五日部隊本部ハ仲座附近要図其ノ八ニ位置シ
 直子ニ配属ニラフ
 2 賀谷部隊ノ兵力一三中隊共約三十名本部通信
 其他ヲ併セテ約百名
 3 小渡ニ於テ独立連射砲中隊ノ一部部隊ニ編入
 4 爾後四師団ノ命令ニ基キ行動ス
 兵器彈藥其他攻具資材僅ナルモ前線ニ亘リテ



喜捨場以東喜平約附近
 戦平開始時配備要図其ノ一

五月二十三日
 五月二十二日
 五月二十一日

四月廿九日
 四月廿八日
 四月廿七日

克ク陣地ヲ守死ニ本部及第一二中队共死ニト全滅
 川河第一中队長戦死ニ六月十八日部隊本部及第一
 中队陣地ヲ約二百米後方ニ移動ス
 5. 敵ハ迫進砲ヲ集中射連ト戦車ノ馬車ヲ攻襲ニ依リ友
 軍陣地ハ次第ニ破碎セラレ本部及配属諸部隊ハ六月
 二十日各個ニ裏破セラレ本部ハ敵ノ包圍スル所トナリ
 突進及斬込ヲ以テ部隊ハ殆ト解体ノ状態トナ
 6. 第二中队長吉村中尉軍医大尉伊藤新十郎ハ十九
 日戦死 部隊長ハ六月二十日僅カニ千兵数名ヲ指
 揮シ真宗寺附近ニ移動シ戦平ヲ繼續ス
 夕三月二十日以降十四旅団トノ連絡杜絶兩長總テ
 諸部隊トノ連絡ハ絶
 8. 部隊長六月二十五日部下数名ト共ニ最後ノ斬込
 ヲ敢行シ戦死ス
 八月十五日 終戦ニ至ル